

## 川崎市の訓練実施結果概要

訓練の 目的	九都県市相互、さらには市民一人ひとりと防災関係機関が緊密な連携をとり、一体となって災害に立ち向かうことが重要であるとの考えの下、基幹的広域防災拠点が立地する川崎区東扇島において実施した。
日 時	平成30年9月1日(土) 10:00~12:00 ※ 川崎マリエン会場 平成30年9月1日(土) 10:00~13:00 ※ 多数遺体取扱訓練 平成30年9月6日(木) 13:00~15:00
会 場	川崎市川崎区東扇島東公園(川崎区東扇島58-1)ほか
規 模	参加機関(団体) 140機関、 参加人員 8,000名
想定地震	(1) 想定地震 川崎市直下を震源とする地震 (2) 発生日時 平成30年9月1日(土) 10時00分 (3) 地震規模 マグニチュード7.3 (4) 最大震度 7
訓練項目	(1) 広報訓練 (2) シェイクアウト訓練 (3) 負傷者応急救護訓練 (4) 初期消火訓練 (5) 情報受伝達訓練 (6) 高所ビル救出救助訓練 (7) 道路啓開・緊急交通路確保訓練 (8) NBC等特殊災害対応訓練 (9) 救出救助訓練 (10) 一斉放水 (11) 災害時応急医療訓練 (12) ライフライン応急復旧訓練 (13) 給食訓練(陸上自衛隊) (14) 救援物資受入訓練(広域拠点) (15) 災害対応車両等展示 (16) 応援部隊輸送訓練 (17) 負傷者緊急搬送訓練 (18) 政府調査団視察訓練 (19) 要救助者搬送訓練(風の塔) (20) 避難所開設訓練 (21) 避難所医療訓練 (22) 救援物資受入訓練(市集積場所) (23) 避難誘導訓練 (24) みんなで訓練48(各種防災訓練) (25) 備える。フェスタ (26) 災害ボランティアセンター訓練 (27) 給食訓練(海上自衛隊) (28) 海上避難訓練(防災浮き栈橋) (29) 情報収集訓練 (30) 海上訓練 (31) 事業所内消火訓練 (32) 負傷者応急搬送訓練 (33) 災害時病院対応訓練 (34) 病院間負傷者搬送訓練 (35) 災害時石油供給訓練 (36) 多数遺体取扱訓練

<p>訓練の特徴</p>	<p>(1) 防災関係機関相互の連携強化と他自治体及び国との協力体制の充実  (2) 自助・共助の取組強化を目的とした市民参加型の体験訓練や防災啓発  (3) 発災時における緊急支援物資の輸送及び受入訓練  (4) かわさきパラムーブメントの考え方を踏まえた防災訓練  (5) 川崎臨海部の地域特性に対応した防災対策訓練の実施  (6) 災害医療活動の初動体制の検証</p>
<p>参加・協力機関</p>	<p><b>【住民組織】</b>  川崎市自主防災組織連絡協議会、川崎市赤十字奉仕団、川崎消防団、川崎地区婦人消防隊委員会、川崎消防ボランティア委員会、川崎地区少年消防クラブ、臨港消防団、臨港地区婦人消防隊委員会、臨港消防ボランティア委員会、臨港地区少年消防クラブ</p> <p><b>【指定公共機関】</b>  東日本高速道路株式会社関東支社、首都高速道路株式会社神奈川管理局、株式会社NTT東日本神奈川事業部、東京ガス株式会社神奈川導管ネットワークセンター、東京ガス株式会社川崎支店、JXTGエネルギー株式会社川崎製油所、東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社、KDDI株式会社、日本赤十字社神奈川支部</p> <p><b>【指定地方公共機関】</b>  公益財団法人川崎市医師会、公益社団法人川崎市歯科医師会、一般社団法人川崎市薬剤師会、公益社団法人川崎市看護協会、一般社団法人埼玉県トラック協会、一般社団法人千葉県トラック協会、一般社団法人東京都トラック協会、一般社団法人神奈川県トラック協会、神奈川県LPガス協会川崎南支部、一般社団法人神奈川県タクシー協会川崎支部</p> <p><b>【事業者等】</b>  JFEスチール株式会社、イツ・コミュニケーションズ株式会社、エリーパワー株式会社、セレモニアグループ有限会社佐野商店、学校法人湘中央学園、株式会社スカイロボット、株式会社理経、株式会社サンナイオートメーション、株式会社ジーエーティー、住友商事株式会社エレクトロニクス第一部電子材第一チーム、川崎葬祭具協同組合、東亜石油株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、東洋埠頭株式会社東扇島支店、平和会ペットメモリアルパーク</p> <p><b>【国・指定地方行政機関】</b>  内閣府（防災担当）、関東管区警察局、総務省関東総合通信局、経済産業省関東経済産業局、国土交通省関東地方整備局、海上保安庁、防衛省南関東防衛局、政府調査団、</p> <p><b>【自衛隊】</b>  陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、自衛隊神奈川地方協力本部</p> <p><b>【警察】</b>  埼玉県警察、神奈川県警察</p> <p><b>【緊急消防援助隊】</b>  東京消防庁、横浜市消防局、千葉市消防局、さいたま市消防局、相模原市消防局</p> <p><b>【協定自治体等】</b>  関西広域連合、花巻市</p>

<p>参加・協力 機関</p>	<p>【その他の公共的団体やボランティア団体等】          一般社団法人川崎建設業協会、神奈川県建設重機協同組合、一般社団法人日本建設機械レンタル協会神奈川支部、Child×Allergy×Trip、NPO法人ナルク川崎、NPO法人救助犬訓練士協会、NPO法人日本救難バイク協会、STEP CAMP（新しい防災袋）、TAMAGAWA CAMP 実行委員会、川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）、かわさき市民放送株式会社、ペガサス宮前、ペットとぼうさい、一般財団法人移動無線センター、一般社団法人日本埋立浚渫協会、一般社団法人助けあいジャパン、公益財団法人かわさき市民活動センター、公益財団法人川崎港振興協会、公益財団法人川崎市国際交流協会、公益社団法人神奈川県柔道整復師会川崎支部連合会、公益社団法人隊友会川崎支部、社会福祉法人川崎区社会福祉協議会、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会、神奈川災害ボランティアネットワーク、神奈川倉庫協会（川崎港）、溝の口減災ガールズ、震災対策コミュニティ研究会、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部、川崎海上共同防災協議会、川崎港運協会、川崎災害ボランティアネットワーク会議、川崎市アマチュア無線情報ネットワーク、川崎市管工事業協同組合、川崎市獣医師会、川崎市消防設備協同組合、川崎市聴覚障害者災害対策委員会、川崎地区ケア輸送連絡会、扇島共同防災協議会、防災ジオラマ推進ネットワーク、一般社団法人地域社会支援ネットワーク神奈川</p> <p>【医療機関】          神奈川DMAT（市立井田病院）、神奈川DMAT（市立多摩病院）、神奈川DMAT（横浜市東部病院）、神奈川DMAT（帝京大学医学部附属帝京溝口病院）、川崎DMAT（聖マリアンナ医科大学病院）、川崎DMAT（日本医科大学武蔵小杉病院）、AOI国際病院、第一病院、日本鋼管病院、宮川病院、川崎協同病院、総合新川橋病院、総合川崎臨港病院、太田総合病院、東海大学医学部附属病院、市立川崎病院、市立井田病院、市立多摩病院</p>
---------------------	---